

自治体 あいちの仲間

発行所 自治労連愛知県本部 名古屋市北区柳原三丁目7番8号
U R L http://www.jaichi.jp TEL 052 916-2251
Eメール info@jaichi.jp FAX 052 916-2308

2009 2.10
No. 979

発行責任者 梅野敏基 定価 10円
組合員の購読料は組合費のなかに含まれています

核兵器のない世界を

3.1ピキニデー

集会 3月1日(日)13:00~15:30
焼津市文化センター大ホール

住民サービスを守る積極的な発言があいついだ



自治労連愛知県本部の第102回臨時大会が1月24日、愛知県産業貿易館で開催され、2009年国民春闘方針などが決定されました。09春闘は、公務・民間の共同、住民との共同した運動を大きく広げ、大企業中心から国民生活中心の政治・経済運営に変えさせるため、職場を基礎に地域に打って出ようと誓いました。

すべての労働者の賃金・労働条件改善へ

臨時大会は、32単組から130名の代議員が出席して開催されました。はじめに梅野執行委員長が「たまたかえは変化を起させる情勢にある。労働組合の真価を發揮して09春闘を大きく広げよう」と開会あいさつしました。来賓には羽根克明愛労連議長と太田よろろう名古屋市長候補がかけつけ

雇用破壊許さず 労働者・国民のくらし守れ

09春闘

激励あいさつを受けました。

その後、伊藤県本部書記長が、第1号議案・2009年国民春闘方針案と第2号議案・08秋年闘争の中間総括案を提案。①雇用破壊を許さず、「働くルール」の確立・すべての労働者の賃金・労働条件の改善、格差と貧困の是正をめざす。②名古屋市長選など住民が主人公の自治体づくりをすすめ、解散総選挙で悪政を

変える、③1500名の組合員拡大で組織の純増をめざすなど、6つの柱が提起されました。

公立保育園守れ 住民サービスの拡充を

午後から討論が行われ、「公立保育園の廃止・民営化の是非を問う直接運動をスタートさせた。公立保育園を守る」とガンバル保護者達とともに、大きな風をおこす(名古屋市職労)



非正規の組織化 現業の人員補充を

また「パート賃金の引き下げに對して、組合加入を働きかけ阻止した。ひきつづき組織化へがんばる(犬山市職労)」「パートの雇用止めを、部会の結成・要求提出ではね返した。パートさんからは『組合ってすごい』といわれた。今後もがんばる(岩倉市職)」「長年はたらいっている嘱託職員の賃金改善へ交渉を強めている(知立市職労)」「予算不足を理由に非常勤のはたらき時間を制限してきた。非正規職員がいて支えられている職場の実態を当局に訴え、一部の園で撤回させた。弱い立場の人を守れないようでは組合ではない(清洲市職労)など、非正規労働者の雇用、労働条件改善に奮闘する力強いとりくみが報告されました。

職場・地域からたたかいたい広げようと団結カンパニー

者補充など求めて、各職場集会の開催などたたかいたいを強める(春日井市職労)20人の現業職員の採用予定を勝ちとった。現業の専門性や仕事の見直しなど、住民から信頼される職員めざしてがんばってきた結果であり、今後も運動を強めた(豊橋市職労)と、厳しい状況の中で奮闘する、現業の仲間の発言も共感を呼びました。

団結強め、共同広げよう

第102回県本部臨時大会



労働組合の真価発揮の時

梅野敏基執行委員長あいさつ

09春闘は、貧困・生活危機突破、カジノ資本主義の

ツケを労働者・国民、中小業者に押しつけさせない、大企業中心から国民生活中心の政治に変える春闘です。いま、労働組合に対する期待は広がり、その真価が問われています。職場の団結と組織の強化を図り、

「各区の営業所や排水事務所・管路事務所の統廃合などがすすめられようとしており、直営堅持、市民サービスを守るため奮闘する」(名水労)「病院を守るたいは、市民からの協力が大きかった。保育園民営化反対でも父母とともに奮闘

や労働条件の低下につながる問題として撤回を申し入れ、たまたかえしている(豊川市病職労)」「住民の健康と命を守るために、保健所行政を守り奮闘する」(名古屋市職労)など、住民サービスを守る決意が出されました。

さらに「現業職場の委託攻撃が出されている。退職

地域との共同をどれだけ広げられるか、たまたかえは変えられる情勢の中にいます。政治を変えて住民・組合員の要求を実現することこそ、労働組合への期待に応える道です。名古屋市長選挙で、太田よろろうさんの勝利を勝ちとることも住民のくらしを守る道です。大いに09春闘奮闘しましょう。

相談をはじめさせた(豊橋市職労)の発言の他、職場要求実現、住民サービス、擁護のたたかい(豊橋・長久手・なごや介護)地域手当引き下げを許さない(幸田)医療を守るたたかい(名古屋病職労)沖縄プロジェクトの成功へ(青年部など)積極的な発言が展開され、各議案とも満場の拍手で採択されました。

公立尾陽病院は地域の宝

町長、院長まじえシンポ

公立尾陽病院を守れとシンポジウムが2月1日、甚目寺中央公民館で開催されました。公立尾陽病院労組などで組織する「尾陽病院を守る会」が主催したもので、会場に入れない250名の町民が参加しました。はじめに「守る会」代表の犬塚正男さんが「みんなの力で一定の医師を確保した。政府の医療費抑制でつくられた医師不足などを



4人のパネラーによる熱心な討論が



会場あふれる参加者

克服し、どう尾陽病院を守り発展させるのか、様々な立場から意見交換したい」とシンポのねらいを明らかにしました。パネラーとして出席した病院管理者の村上浩司甚目寺町長は、「昨年6月、中村日赤の術後の患者受入れなど、地域医療を守る立場から病棟連携をとった。安定安全安心の地域医療を守っていききたい」と発言。つづいて鈴木孝一海部医師会会長が「世界でも日本の医師は少なく、医療費は主要7カ国で日本が一番少ないのが実態。医師会としても勤務医の負担軽減など病診連携を強化したい」と発言。川口正展公立尾陽病院院長は「大病院に集中させるだけで患者の命が救える

愛労連臨時大会

今こそたたかう労働組合の出番

愛労連の臨時大会が1月25日、蒲郡勤労福祉会館で開催されました。羽根克明議長は「たたかう労働組合のとりくみで、いまでは首相ですら大企業の内部留保の活用を口にせざるを得なくなりました。今こそ、全労連・愛労連の出番。労働組合の真価を發揮しよう」と開会



熱心に聞き入る退職者

各組合の退職者の方々につづられている自治体退職者会愛知連絡協議会は2月

イラク訴訟と憲法学習

退職者会愛知連絡会

10日、イラク訴訟と憲法」と題して学習会を行いました。ソマリア沖など海上自衛隊の派遣が強行されようとしているもと、昨年4月17日に名古屋高裁が「イラク派兵は憲法違反」と断罪した内容を学ぼうと企画されたもので、8つの退職者会から46名が参加しました。講演に立った名古屋南法律事務所田巻紘子弁護士は「憲法が規定する平

「今の社会は『滑り台社会』ノーと言える労働者に」

反貧困ネットの湯浅さん講演

あいち社会保障学校

労働者に社会保障・生活保障がほとんど効力を発しない。一度つまづくと滑り台のように社会の底辺まで落ちてしまふ、貧困が固定化してしまふ。どんな条件でも「ノーと言えず」はたらかざるを得ない労働者がつくり出されている。『派遣村』でやったことは生活の再建。『ノーと言える労働者』をつくり出すことだ」と話しました。

「09年までに解決すべきこととして、シエルターと

言いたい劇場

小昔りや子



組合員みんなの助け合い
自治労連共済



活発な討論が展開

第10回あいち社保学校が2月1日労働会館で開催され、ロビーまであふれる286名が参加しました。午前中は、「反貧困ネット」の事務局長で、「派遣村」村長の湯浅誠さんが年越し派遣村から見た日本社会」と題して講演をおこないました。

「今の社会は『滑り台社会』で、派遣切りにあつた



愛知派遣切り抗議大集会

とき 2月22日午後1時～4時
ところ テレピアホール(地下鉄栄駅4番出口)
内容 労働者から訴え・緊急対応など
集会後、ミッドランドスクエアまでデモ
主催 反貧困ネットなど実行委員会

地方分権・道州制を考える

どうなる私たちの暮らし

とき 3月7日(土)
午後1時45分
ところ 愛知産業貿易館
本館・特別会議室

記念講演

岡田 知弘さん

京都大学大学院教授

市民討論集会

和的生存権は、被害者にならないというだけでなく、被害者にならないという視点から派兵ありきで許されないと明らかにしました。参加者からは、わかりやすく、まわりにも訴えたい」と感想が寄せられました。

総合相談窓口の設置。中途解約に対する派遣先責任の追求。寮からの退去規制など。をあげ、正規労働者も労働組合もこの問題を自らの問題として運動していくことが重要とふれました。

午後からは、東北大学教授の日野秀逸さんから「医療・社会保障危機と脱出方法」と題して講演がありました。